



校訓
「自主・敬愛・責任」

阿戸中だより

平成23年
2月号
広島市立
阿戸中学校

☆3年生は、まさに春を迎える準備、進路先決定に向けて頑張っています！

新しい年が明けたと思ったら、1月があっという間に行ってしまった。2月も、毎日がさっさと逃げていって。今年の冬は、厳しい低温で、「寒いですね。マイナス 度ですよ」があいさつの定番になっていましたが、暦の上では「立春」を迎えました。昼間は多少温かくなるのでしょうか。自然界は厳しい冬の間、エネルギーを蓄え、春を迎える準備をしているそうです。私達も、今年度のまとめと、新年度の準備をしっかりとしていきたいと思っています。

さて、入試シーズンが全盛を迎えました。ぼつぼつ受験が始まっていたのですが、先週は、半数近くの方が受験する公立・私立の推薦入試がありました。今週結果がわかり、来週は私立の一般入試です。緊張とドキドキが続きますが、ある意味自分の3年間の中学校生活のあり方が問われるものです。人生の節目として大切なものだと思います。合格した人は、それでよし。残念ながら不合格だった人も、またよし。何かをつかむはず。目標設定をして、その目標に到達するために今回の自分に不十分だったことは何かをつかめばいいのです。これからの人生で、多くの目標設定と、チャレンジがあります。その時自分がどうあるべきかを今学ぶことになるからです。だから、結果の心配で心をいっぱいせず、残り1ヶ月、自分のできる行動を精一杯やりきってください。結果は後からついてくるものです。心から、みんなで応援しています！

お知らせ

☆2/15(火)は1・2年生の授業参観・学級懇談会です。 あわせて、6年生の保護者の方には、入学説明会を行います。☆

1年生も2年生もこの一年間で、ずいぶん成長しました。2年生といえば、中間でだらける学年なのですが、この2年生は、むしろどんどん落ち着いてきて、意欲が出てきて元気になっているように思います。とても素晴らしいことでうれしく思っています。1年生は、中学生が板についてきてのびのび、しかし純粋にまじめに学級活動に取り組んでいます。1年生の素晴らしいところは表現力です。表舞台でしっかり表現できています。このままどんどん力を付けてくれることを楽しみにしています。その成長した子どもたちの学校での様子を、ぜひ参観してやって下さい。



2/14(月)は、PTA役員会があります。

夜のお忙しいときですが、今年度の反省と、来年度に向けての課題の検討をしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

- * 評議委員会 19:00 ~ 校長室
- * 役員会 19:30 ~ 家庭科室

☆2/24(木)は、3年生を送る会があります。

新執行部の初めての行事です。今その取り組みを頑張っています。各種メッセージとバレーボール大会をします。3年生、送られる側ですよ。実感ありますか。今からいろんな事が最後になります。3年生という学年、阿戸中学校の卒業を控えての気持ちと毎日をしっかりと味わって下さい。二度と来ない日々です。1・2年生は、感謝の気持ちが3年生に伝わるよう、心をこめて、温かく、準備をして下さい。



阿戸中のフレッシュ教職員 家庭科 山田 智子先生

私が阿戸中に来て十ヶ月が経とうとしています。最初は「阿戸ってどんなところ？」と不安でいっぱいでしたが、いざ来てみると、阿戸の良いところがたくさんありました。まず何が一番かということ、私が生まれ育った甲立同様自然があふれていたことでした。そして、地域の方と接してみて、皆さんのあたたかさが、故郷と重なる部分が多くありました。そんなすばらしい自然とあたたかい地域の元で育ってきた生徒たちに囲まれ、充実した日々が過ごせています。

子育て コミュニケーション

5「思春期その2」

思春期。子どもは親の枠組みの外に出て自分の価値観を見つけようとしています。親の価値観の中で満足し、親に認められたい一心で親の言うとおりにしようとするのが小学生の時期。親を抜くためのバトルを繰り返す過程の中で、親や他者、社会の価値観との調整を図り、自分の価値観を生かす道を見つけていくのが思春期。だから、思春期は自分づくりのために必ず必要な時期で、遅かれ早かれみんなやってきます。表現の仕方、程度は個人差がありますが、早い子で中学1年夏休み明けくらいから、多くは中学2年生で、3年生になる子や親が強いと高校生で出ることもあります。2～3年で落ち着いて、他者を認められるようになります。親と素直に会話ができるようになるのは、高校を卒業してからが多いようです。いやいや、子育ては大変ですね。でも、思春期を終えた子どもたちが見せる小さなやさしさや思いやりに接するとホントにうれしいものです。

では、渦中の今、どう接していくか。まず考え方の基本は「いつまでも親の枠の中に閉じこめておこうとしないこと」です。子どもに任せられることは任せ、自分で決定させ、責任を持たせることです。いつまでも、「子どもだから、できんから、親が何とかしなければ」と思わないことにするのです。任せて失敗してもOKです。中学生の失敗なんて、たいしたことはありません。失敗から学べば、むしろ Very Good です。今後の役に多に立ちます。

そして、対応の仕方のポイントは、感情的に対応しないこと(ガミガミは最もNGです)、子どもの言うことをしっかり聞いて対応してやること(きめつけもNG)、過去の親の矛盾を突いてきたら、対応のまずさについては素直に謝り、しかしその時の思いはしっかり伝えること、遅い子どものリズムに合わせて「待つ」こと(これが最も難しいかも)です。

思春期の子どもですから、幼児のように簡単にはいきませんが、大丈夫です。子どもとしっかり向き合しましょう。逃げないで、本音を出して、本気を伝えましょう。本気が伝われば子どもは必ずわかってくれていますよ。大人にならない子どもはいません。(教頭 藤本)